

**学校法人 福原学園**  
**令和5年度事業計画**

**令和5年3月**

# 目 次

## I. はじめに

## II. 事業の概要

1. 九州共立大学	1
(1)教育研究活動の充実	
(2)学生支援の充実	
(3)大学運営の充実	
2. 九州女子大学・九州女子短期大学	5
(1)教育研究活動の充実	
(2)学生支援の充実	
(3)大学運営の充実	
3. 自由ヶ丘高等学校	8
(1)教育活動の充実	
(2)生徒支援の充実	
(3)高校運営の強化	
4. 九州女子大学附属幼稚園	10
(1)折尾幼稚園	
(2)自由ヶ丘幼稚園	
(3)鞍手幼稚園	
5. 管理運営	13
(1)学園内ネットワークの効率的運用	
(2)組織の若返りによる組織活力の維持向上	
(3)組織活性化のための制度改革の実行	
(4)事務職員の能力開発（SD）の推進	
6. 財務・環境整備	14
(1)収入増加と財政に応じた支出の検討	
(2)事業別収支体質の強化	
(3)施設設備の計画的な整備	

### ※ 添付資料

#### 令和5年度事業計画アクションプラン

- (1)九州共立大学
- (2)九州女子大学・九州女子短期大学
- (3)自由ヶ丘高等学校
- (4)折尾幼稚園
- (5)自由ヶ丘幼稚園
- (6)鞍手幼稚園
- (7)管理運営
- (8)財務・環境整備

## I. はじめに

福原学園は、建学の精神である「自律処行」の理念に基づき、2014(平成26)年度からの「福原学園第2次中期計画(5ヶ年)」、および「福原学園第2次中期財政計画(5ヶ年)」で積み残した課題を精査し、継続または新たな改革・施策に着手するため、2019(平成31)年度より「福原学園第3次中期経営計画(5ヶ年)」を策定し、過年度実施項目を点検のうえ、本計画を履行するものである。

## II. 事業の概要

### 1. 九州共立大学

九州共立大学は、「社会に適応できる自立した職業人を養成する大学を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動し、知識基盤社会で活躍し得る教養と課題追求能力・総合的判断能力・問題処理能力を併せ持つ真摯な学生を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育研究活動の充実、(2)学生支援の充実、(3)大学運営の充実の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

#### (1)教育研究活動の充実

職業人養成教育大学として、資格・免許取得を学修成果とし、学生の質に応じた教育活動を展開するとともに、教育活動に基づく研究を展開する。

##### 1) 特色ある教育研究活動構築の強化

###### ①大学教育の質の向上

【九共大AP No.1】

経済学部、スポーツ学部の安定的な学生確保を図るため、入学志願状況等を踏まえ、令和6年度以降の両学部の教育組織の改編について検討および変更手続きを行う。大学院について、経済・経営学研究科が令和5年度に完成年度を迎えるにあたり、施設、設備、教員体制等に関する設置計画および設置認可時に付された附帯事項を確実に履行する。また、大学全体の定員管理において、中長期的な視点から定員充足状況および志願状況、ならびに経済学部経済・経営学科および地域創造学科の定員設定の検証を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：経済学部収容定員充足率	103%
スポーツ学部収容定員充足率	101%
大学院研究科収容定員充足率	100%

###### ②免許・資格取得支援の強化

【九共大AP No.2】

第2次中期計画で実践してきた取り組みを継続して実施し、各学部の免許・資格の取得率を向上させるため、公務員試験における公安職（警察・消防等）・行政職に向けた対策、教員採用試験に向けた教職科目の充実を図る。また、日商簿記・ファイナンシャルプランナー・国内旅行業務取扱管理者等の資格支援体制を検証するとともに免許・資格に係る業務内容の点検・評価・検証を行い、免許・資格支援体制の充実と強化を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：経済学部教員採用試験合格者数（延べ数）	3[2]人
スポーツ学部教員採用試験合格者数（延べ数）	14[6]人
経済学部公務員公安職合格者数（延べ数）	35人
スポーツ学部公務員公安職合格者数（延べ数）	40人
経済学部公務員行政職合格者数（延べ数）	6人

スポーツ学部公務員行政職合格者数（延べ数）	4人
アスレティックトレーナー合格者数	5人
トレーニング指導者合格者数	20人
日商簿記（3級以上）・ファイナンシャルプランナー・国内旅行業務取扱管理者合格者数	100人

※[ ]内の数値は卒業生数

### ③教育活動に基づいた研究活動の強化 【九共大AP No.3】

高等教育機関の基盤を支える研究を推進するため、科学研究費補助金等申請率および採択件数の増加支援策を検討し、研究業績の蓄積を図るとともに全国学会誌等への掲載を促進する。また、特色ある研究としてスポーツ栄養研究センターにおいて企業や学術団体などとの幅広い共同研究体制を整え、地域連携を進めることで同センターの研究事業を推進する。さらに、研究能力の向上を図るための長期研修制度の原案について継続して検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：科学研究費補助金申請率	80%
科学研究費補助金採択件数	6件
全国学会誌等への掲載件数	35編

## 2)学修成果を重視した教育課程の構築

### ①授業科目に係る体系性の構築 【九共大AP No.4】

学修成果の測定方法等を検討するため、単位の実質化、成績基準の明確化・厳格化、履修系統図の実質的な運用、開講科目の体系化・スリム化を検討し、学修成果の測定と可視化を促進し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：適切な事前事後学修を促す授業の実施率	100%
アクティブラーニングの要素を含む授業の実施率	100%
授業評価フィードバックアンケートの自由記述欄における出席管理・授業時間・授業回数に関する否定的な意見を含まない授業の割合	100%

### ②学修支援の強化 【九共大AP No.5】

多様な学生に対する学修支援を実施するため、やる気のある学生が伸びることを支援する施策として、学習支援センターが主管する「やる気支援」において、教育課程内科目と密接に連携した運用を行う。また、退学・除籍を未然に防止するための施策として、学習支援センターおよびキャリア支援課就学支援担当職員が担当する就学支援を継続実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：退学率	2.0%
除籍率	0.2%
学生満足度	80%

## (2)学生支援の充実

教職員と学生とのコミュニケーションの活性化を図るとともに学生支援体制を充実し、学生の満足度を向上させる。また、海外協定校との国際交流を促進する。

### 1)キャリア支援の強化

#### ①キャリア形成支援プログラムの充実 【九共大AP No.6】

キャリアデザイン科目との連携を強化し、就職に関する満足度を向上させるため、民間企業希望者に対し職業観を早期に確立させ、主体的に就職活動へ取り組む学生の増加を目指す。また、公務員・教員希望者に対してはK-CIPを中心とした教育課程内での取り組み、「やる気支援」の取り組みを通じて、就職実績・合格者の増加を図る。さらに、キャリア教育・キャリア形成支援体制の点検・評価・検証を行う仕組みを構築し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：上場企業【東証プライム・スタンダード】現役内定率	50%
特定業界【金融・保険・JA等】現役内定率	15%
北九州市内事業所への現役就職決定率	35%
公務員公安職 現役合格者数（延べ数）	75人
公務員行政職【全体】現役合格者数（延べ数）	10人
公務員行政職【県庁・政令指定都市】現役合格者数（延べ数）	5人
教員採用試験【中高】現役合格者数（延べ数）	9人
教員採用試験【小】現役合格者数（延べ数）	8人

## ②卒業生ネットワークの構築 【九共大AP No.7】

卒業生ネットワークの構築を図り、卒業生との繋がりや醸成および在学生の就職支援や入試・募集対策に資するため、学内広報誌の第5～6号を発刊し卒業生および全在学生の実家、同窓会役員、西日本地区の高校、学園取引企業等に配布する。また、広報誌発刊（取材、作成、配布）を通じて得られた情報を同窓会と共有することにより、同窓会活動の活性化を図る。さらに、卒業時アンケート・卒業生アンケートを実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：卒業時アンケートの回収率	80%
卒業生アンケートの回収率	20%

## 2) 国際交流システムの構築

### ①グローバル化への対応の強化 【九共大AP No.8】

国際的視野を持って活動できる人材を育成するため、グローバル環境の整備、地域のグローバル化への貢献、別科日本語研修課程（仮）の設置と運営の円滑化およびイングリッシュワークショップの実施による実践的語学力の習得を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページの多言語化の進捗状況	100%
本学日本人学生の留学者数	10人
別科生の人数	20人
イングリッシュワークショップ参加者数	20人

### ②海外協定校との連携の充実 【九共大AP No.9】

現代社会のグローバル化に適応できる人材に成長させるため、海外大学との協定締結の推進および海外協定校との単位互換等の促進に向け検討する。また、併せて海外協定校との人事交流の促進に向けた検討を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：新規の協定締結校数	2件
留学生の数（短期留学生を除く）	80人
協定校との単位互換プログラム件数	1件
協定校との教員人事交流の数	2人

## (3) 大学運営の充実

教育研究部門と管理運営部門との協働体制を確立し、効果的な組織運営を行い、組織の活性化を図る。また、大学の特色を伝える戦略的な募集活動を展開する。

### 1) 広報活動の強化

#### ①学生募集・広報の充実 【九共大AP No.10】

他大学との差異を鮮明にし、高校生を出願から入学に導くため、在学生情報の提供を主とした高校訪問の実施、オープンキャンパス告知方法の充実および高校教員対象の大学説明会の充実を図る。さらに、スポーツの強みを生かしたブランディング戦略、女子学生および男子一般学生獲得のための施策、優秀な留学生の確保について検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：オープンキャンパス参加者数	1,500人
受験者数	1,500人
女子学生の入学比率	35%
海外の新規大学訪問数	5校

**②高大連携の促進** **【九共大AP No.11】**

高校生に対し早い段階から大学の学びに興味を持ってもらうため、実践的な交流が可能な「体験型授業プログラム」および「協定校連携プログラム」について具体的な企画案を立案する。さらに、系列校・協定校を対象とした入学者選抜および「入学前教育プログラム」を実施することで、高大連携協定校との関係強化を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：高大連携協定校の拡充	3校
-------------------	----

**③学力の3要素を踏まえた入試制度改革の促進** **【九共大AP No.12】**

令和2年度より実施している、学力の3要素を踏まえたアドミッションポリシーに基づく入試制度について自己点検を行い、見直し作業を継続するとともに、令和6年度に実施する新学習指導要領に対応した入学者選抜について検討する。また、アドミッションオフィサーについては、研修で取得したスキルを活用した高校生に対する進学指導・相談を実施することで入試段階のミスマッチの防止を図ることとし、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：施策の実施率	100%
アドミッションオフィサーによる進路指導相談生徒数	40人

**2) 運営組織体制の強化**

**①国内の他大学との連携の強化** **【九共大AP No.13】**

大学間連携を推進するため、2016(平成28)年度に連携協定を締結した協定大学との合同研究会の実施に向けて検討する。また、北九州市との協議において、プラットフォーム体制構築の可能性についても模索し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：国内の他大学との合同授業の開催	1件
国内の他大学とのFD・SDの開催	1件

**②地域連携・産学連携の強化** **【九共大AP No.14】**

地域連携・産学連携を推進するため、地域連携推進センターを主として、連携事業プランの進捗管理を行う。また、スポーツ栄養研究センターと協力関係にある企業との連携を強化して、受託研究、共同研究の促進を図ることとし、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ボランティア参加学生数（延べ数）	400人
受託研究数	2件
共同研究数	2件

**③FD・SDの強化** **【九共大AP No.15】**

FD・SDを強化するため、現行の授業評価アンケートの設問に関して見直しの必要性を再検討するとともに、WEBアンケートの実施に伴い、実施要領の作成（教員・学生用）および運用方法を検討する。また、ティーチング・ポートフォリオの令和4年度分作成、提出後に運用について検証し、今後の活用を検討するとともに、授業改善を促すFD研修を企画・実施する。また、令和5年度のSD研修に関する計画を立案・実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：FD研修の実施率	100%
SD研修の実施率	100%

## 2. 九州女子大学・九州女子短期大学

九州女子大学・九州女子短期大学は、「地域に根差した実践教育を展開する大学を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動し、社会の期待に応えられる基礎的・汎用的能力を併せ持つ、強くてしなやかな女性を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育研究活動の充実、(2)学生支援の充実、(3)大学運営の充実の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

### (1) 教育研究活動の充実

学生への丁寧な教育と質の高い教育活動を行い、地域社会の核となる実践教育を展開するとともに、教育活動に基づく研究を展開する。

#### 1) 特色ある教育研究活動構築の強化

##### ① 大学教育の質の向上

##### 【九女大・九女短大AP No.1】

家政学部および人間科学部の改組については、新学科設置後の履行状況について検証を実施し、完成年度を迎えるまで設置計画履行状況調査に対応する。大学院研究科については、令和6年4月開設に向けて設置準備室（仮称）を新たに設置し、開設前年度の準備を進める。また、大学全体の定員管理の遵守および安定的な定員充足が可能となる体制を構築し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：家政学部 収容定員充足率	100%
人間科学部 収容定員充足率	100%
子ども健康学科 収容定員充足率	100%
専攻科子ども健康学専攻 収容定員充足率	100%

##### ② 免許・資格取得支援の強化

##### 【九女大・九女短大AP No.2】

各学科・専攻の教員採用試験、国家試験、免許・資格等の合格率を向上させるため、教員採用試験対策、管理栄養士国家試験対策、一般企業就職対策およびその他の国家資格等の対策を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：教員採用試験最終合格者数（生活デザイン学科/人間生活学科）	6人
インテリア関連資格試験最終合格者数（生活デザイン学科/人間生活学科）	5人
管理栄養士国家試験合格率（栄養学科）	100%
教員採用試験最終合格者数（児童・幼児教育学科/人間発達学専攻）	50人
国公立保育者最終合格者数（児童・幼児教育学科/人間発達学専攻）	8人
教員採用試験最終合格者数（心理・文化学科/人間基礎学専攻）	5人
公立幼稚園・養護教員採用試験最終合格者数（子ども健康学科）	3人
公立養護教員採用試験最終合格者数（専攻科子ども健康学専攻）	5人

##### ③ 教育活動に基づいた研究活動の強化

##### 【九女大・九女短大AP No.3】

質の高い教育活動を実践するための基盤となる研究活動の促進を図るため、科学研究費補助金等の外部資金獲得のための支援、大学教育改革の基礎となる研究への支援、個人研究費の傾斜配分による研究支援の充実および間接経費を活用した教育・研究環境整備による研究支援を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：科学研究費補助金申請率	60%
科学研究費補助金採択件数 ※研究分担者は除く	5件
全国学会誌等への掲載件数（延べ）	20編

#### 2) 学修成果を重視した教育課程の構築

##### ① 授業科目に係る体系性の構築

##### 【九女大・九女短大AP No.4】

学修成果の可視化を推進するため、教育課程体系化の検証、シラバス記載内容

の見直しおよびGPS-Academic等の外部テスト活用方法を検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：適切な事前事後学修を促す授業の実施率	100%
アクティブラーニングの要素を含む授業の実施率	100%

## ②学修支援の強化 【九女大・九女短大AP No.5】

学修支援の充実を図るため、学生ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」とその基幹となる学務情報システム「GAKUEN」を活用した全学的な学修支援体制の充実について検討し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生満足度	90%
退学率（大学）※除籍者は除く	1.3%
退学率（短大）※除籍者は除く	1.3%

## (2) 学生支援の充実

社会で通用する汎用的能力の強化を図るとともに多様化したニーズに対しての学生サービスを提供し、学生の満足度を向上させる。また、海外協定校との国際交流を促進する。

### 1) キャリア支援の強化

#### ①キャリア形成支援プログラムの充実 【九女大・九女短大AP No.6】

令和4年度から改正したキャリアデザイン科目のうち、「キャリアデザインⅠ」では本学ディプロマポリシーに則って初年度教育と課題解決型学習を行う。旧課程で開講する「キャリアデザインⅢ」では、就職についての基礎知識や様々な職業観等の教授を行い、「インターンシップⅠ」では産学官連携事業等を活用して、実際のインターンシップと就職活動へ直結する教育を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：就職内定率	100%
--------------	------

#### ②卒業生ネットワークの構築 【九女大・九女短大AP No.7】

卒業生との連携強化および卒業生ネットワークの構築を図り、在学生の進路選択に活用するため、卒業生の就職状況のデータを整備する。また、今後の教育改革、学生支援の見直しに活用するため、卒業時（卒業学年）アンケートおよび卒業生アンケートを継続して実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：卒業時アンケート回収率	85%
卒業生アンケート回収率	20%

### 2) 国際交流システムの構築

#### ①グローバル化への対応の強化 【九女大・九女短大AP No.8】

令和4年度の日本語教育と英語教育の事業を継続し、グローバル化への対応の強化を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：イングリッシュワークショップ参加者数	20人
---------------------------	-----

#### ②海外協定校との連携の充実 【九女大・九女短大AP No.9】

海外協定校との人事交流および学生の海外研修プログラムの参加を促進するため、従来の協定校からの留学生の受け入れと支援を継続して実施するとともに、留学生の募集活動については、協定校所在国の情勢に鑑み、オンライン、もしくは対面での実施を計画する。また、海外研修プログラムの宣伝・告知を強化して参加を促進し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：海外研修プログラム参加者数	30人
----------------------	-----

## (3) 大学運営の充実

教育研究部門と管理運営部門との協働体制を確立し、効果的な組織運営を行い、組織



の活性化を図る。また、大学の特色を伝える戦略的な募集活動を展開する。

## 1) 広報活動の強化

### ① 学生募集・広報の充実

【九女大・九女短大AP No.10】

教育理念に基づくブランドイメージを構築し、志願者の増加による安定的な入学者の確保を図るため、広報戦略の強化、高校教員対象の大学説明会の充実を図る。また、オープンキャンパス参加者の満足度向上のための施策を検討し、本学の重点校との良好な関係を構築して、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：オープンキャンパス参加者数	1,200人
オープンキャンパスリピート率	50%
受験者数（大学）	750人
受験者数（短大）	210人

### ② 高大連携の促進

【九女大・九女短大AP No.11】

高大連携に係る教育の連携を学生募集に結びつけるため、連携協定校との事業拡大と充実を図る。また、連携事業として本学施設を利用した模擬授業等の実施、教員が高等学校に出向いて行う出前授業を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：協定校からの入学者数	32人
-------------------	-----

### ③ 学力の3要素を踏まえた入試制度改革の促進

【九女大・九女短大AP No.12】

学力の3要素を踏まえた入試制度について自己点検を行い、見直し作業を継続するとともに、令和6年度に実施する新学習指導要領の下での入学者選抜の詳細について検討を行う。また、アドミッションオフィサーについては、研修で得られた知識をもとに、学科ミスマッチを未然に防ぐため、オープンキャンパス等における学部未定者に対する進路指導相談を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：入試制度改革の実施率	100%
アドミッションオフィサーによる進路指導相談生徒数	40人

## 2) 運営組織体制の強化

### ① 国内の他大学との連携の強化

【九女大・九女短大AP No.13】

本学と同一または類似した学問分野を持つ国内大学と連携し、質の高い教育を実践するため、近隣他大学との連携を通じて地元就職向上施策等について情報交換するとともに、連携候補他大学の情報収集と検討、ならびに遠方他大学における連携可能な大学の調査および視察を行う。

[成果指標]：連携した大学数	3校
----------------	----

### ② 地域連携・産学連携の強化

【九女大・九女短大AP No.14】

産業界との連携体制を整備し、学生の就職支援施策に繋げるため、自治体との連携事業を推進し、地域連携事業に関する研究を行うとともに連携事業を点検・評価する。また、インターンシップ事業および企業連携を推進する。

[成果指標]：共同研究・受託研究実施件数	2件
企業との連携件数	2件

### ③ FD・SDの強化

【九女大・九女短大AP No.15】

授業方法や授業内容の改善および教育研究活動の適切かつ効果的な運営を図るため、教育活動および研究活動に係るFD活動を推進する。また、SD活動に関しては、学内研修会の実施、学外研修会への参加をとおして情報共有し、大学運営機能を強化し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：FD研修会への専任教員参加率	100%
SD研修会への教職員参加率	100%

### 3. 自由ヶ丘高等学校

自由ヶ丘高等学校は、「すべての生徒一人ひとりのために教育を行う高校を目指す」ことを使命として掲げるとともに、人材育成方針を、「人間開発」、「学力開発」を基軸とし、知(確かな学力)・徳(豊かな人間性)・体(健康と体力)の調和のとれた豊かな人間性を養い、規律・勤労・礼儀を体得し、社会を生き抜くことのできる人材を育成することとしている。この使命・人材育成方針を達成するため、(1)教育活動の充実、(2)生徒支援の充実、(3)高校運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

#### (1)教育活動の充実

生徒一人ひとりに対して、充実した教育活動を実施し、各クラス・コースの学力の向上を図り、受験対策指導の強化を推進する。

##### 1)学力の向上

###### ①授業内容の充実

【高校AP No.1】

教科科目の領域を横断し、主体的で対話的なより深い学びを実現させるため、ICTを活用した授業内容の充実、観点別評価の3観点を取り入れた指導計画の作成、英語力の向上および外部模試による学力の伸長を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ICTを活用した公開授業実施回数	2回
教科別指導計画作成	100%
3年生のGTEC690点以上または英検CSE1700点以上の人数	135人
外部模試前年比較伸長割合	70%

###### ②教科指導力の向上

【高校AP No.2】

本校が普通科「進学校」として生徒の学習成果および大学合格を更に高いレベルに上げるため、新教育課程検討部会および教科学習会において、学習指導方法を研究し、指導力の向上および受験指導の改善を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：新教育課程検討部会	5回
教科学習会（教科会議）	8回

##### 2)受験対策指導の強化

###### ①難関国公立大学合格への教育指導内容の充実

【高校AP No.3】

難関国公立大学合格を目指す生徒を増やし、合格実績の増加を図るため、教科別入試問題研究会における入試分析の実施および各予備校が実施する教員対象のセミナーへの参加による教員の教科指導力と受験指導力の向上を図る。また、放課後の講座制課外を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：入試問題研究会（教科会議）	8回
難関国公立大学合格ラインを超える生徒数	25人
難関国公立大学合格者数	20人

###### ②国公立大学への合格実績の向上

【高校AP No.4】

新しい入試制度に対応し、生徒が目標とする大学へ進学するため、学習環境の整備や教科学習会における大学入試研究を実施する。また、地元国公立大学の総合型選抜や学校推薦型選抜の入試研究および一般選抜に向けた学力育成を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：国公立大学の合格者数 ※難関大学を除く	100人
総合型選抜、学校推薦型選抜での合格者数	40人

## (2) 生徒支援の充実

学校行事や部活動の活性化を図るとともに、キャリア教育をとおして生徒支援を推進する。

### 1) キャリア教育の充実

#### ① LCP（リバティキャリアプラン）の充実

【高校AP No.5】

授業における総合的な探究の時間において、生徒が自ら課題を発見し情報を収集・分析して解決できる資質・能力の育成を目指すために、論理的思考力・論理的文章作成能力の育成、ディスカッション・プレゼンテーション能力の向上を図り、さらに、外部講師や校外活動の充実および生徒の成長のための探究学習を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：外部講師の講演	4回
校外学習	4回
探究学習の完成	100%
評価方法の作成	100%

### 2) 特別活動・部活動の活性化

#### ① 学校行事の充実

【高校AP No.6】

自立した生徒の育成プランとして生徒主体の学校行事の充実を図り、生徒一人ひとりが自由と責任に基づき行動できるように指導し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：文化祭来校者数	1,200人
体育祭の満足度	88%
文化祭・体育祭の中学生見学者数	180人

#### ② 部活動の充実

【高校AP No.7】

興味関心のある部活動に積極的に参加し、社会性を身につけることにより、高校生活を充実させ、希望進路の実現を図る。また、部活動の活動状況、部員数、成績等の把握による適正な予算配分と支援体制の構築および生徒・保護者の満足度向上と部活動顧問の指導環境等の改善による指導分担の再構築を行う。文化部加入率の向上に向けては、校内外において活動状況発表の場を設け、さらにホームページで活動に関する広報活動を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：部活動加入率	68%
文化部加入率	28%
文化部校内発表会の開催回数	5回

## (3) 高校運営の強化

志願者および入学定員の確保を目指した募集広報活動の展開と、組織の活性化を図り、地域に根差した魅力ある学校づくりを推進する。

### 1) 戦略的募集広報活動の推進

#### ① 中学校・塾への募集広報活動の強化

【高校AP No.8】

本校への興味・関心を高め、志願者および入学者の増加を図るため、中学校・塾主催の高校説明会への参加、PTA等の高校訪問に伴う募集活動および出前授業・特別講座を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：中学校・塾主催高校説明会数	55回
高校訪問（PTA・中学生等）の来校者数	340人
出前授業・特別講座	28回

## ②オープンスクールの活性化とホームページの活用

【高校AP No.9】

本校への興味・関心を高め、志願者および入学者の増加を図るため、学校見学会（オープンスクール等）の活性化およびホームページを活用した広報活動に加えてインターネット出願とインターネットによるイベント申込の広報活動を行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：オープンスクール等の来場者数	2,800人
ホームページの平均閲覧者数	30,000人
定員充足率	100%

## 2) 地域貢献活動、高大連携の推進

### ①地域貢献、ボランティア活動の充実

【高校AP No.10】

地域社会との交流やボランティア活動をとおして、地域に根差し、信頼・評価される開かれた学校づくりを目指すため、地域貢献活動としてパソコン講座の企画やインターアクトクラブ・生徒会を中心としたボランティア活動の充実を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：パソコン公開講座参加者数	40人
ボランティア活動参加者数	400人

### ②高大連携の推進

【高校AP No.11】

高大連携の場を多く設けることで、生徒の進路意識を高め、将来の目標を持たせるために、本校開催の大学説明会に対する多くの大学への参加協力の要請および生徒のオープンキャンパスや体験授業等への参加促進を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：大学説明会	3回
大学見学会	2回

## 4. 九州女子大学附属幼稚園

九州女子大学附属幼稚園は、「健全な幼児教育を行う幼稚園を目指す」ことを使命として掲げるとともに、育成方針を、義務教育およびその後の教育の基礎を培い、心身ともに健やかな幼児を育成することとしている。この使命・育成方針を達成するため、1) 保育内容の充実、2) 大学・地域との連携強化、3) 幼稚園運営の強化の3つの基本目標を設定し、具体的な業務・事業を実施する。

### (1) 折尾幼稚園

#### 1) 保育内容の充実

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

##### ①幼稚園教育の質の向上

【折尾幼AP No.1】

幼稚園教育の質の保証および日常保育の質の向上を図るため、計画的な研修の実施、充実した指導計画の作成、学校評価の実施および幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を推進し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：研修に基づく指導計画の見直し、改善	30%
地域の小学校との連携	12回

##### ②園の特色を活かした教育課程の編成

【折尾幼AP No.2】

園児の幼稚園生活への適応状態や興味・関心の傾向を踏まえた教育課程を編成するため、昨年度の教育課程の見直しを行い、カリキュラムおよび体験型保育の充実を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：体験型保育実施回数	40回
------------------	-----

## 2) 大学・地域との連携強化

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

### ① 学園設置大学との連携の強化

【折尾幼AP No.3】

附属幼稚園の特質を活用した保育内容と保育力の向上を図るため、大学教員と学生との連携企画を実施する。また、大学教員と連携した正課教室を開催し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：大学教員との連携	30回
学生との連携	8回

### ② 地域との交流の推進

【折尾幼AP No.4】

地域に信頼され、地域に支持される幼稚園を構築するため、地域の福祉施設等との連携や地域イベントへの参加および附属幼稚園間での交流を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域との連携回数	12回
地域へのイベントの参加	2回

## 3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

### ① 園児募集・広報の強化

【折尾幼AP No.5】

保護者の本園に対する理解を深め、本園への入園に繋げるため、未就園児教室およびホームページ、SNS等を活用した保育情報の発信による広報活動の充実を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：未就園児教室参加者数	660人
ホームページ更新回数（月）	6回
総園児数	180人

### ② 安全対策の徹底

【折尾幼AP No.6】

日々の保育が安全に守られ安心して保育できる幼稚園として保護者や地域からの信用・信頼を確保するため、安全・衛生点検の強化、危機管理の強化を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：安全チェック	12回
消防訓練、地震避難訓練	3回
交通安全教室、防犯訓練	1回

## (2) 自由ヶ丘幼稚園

### 1) 保育内容の充実

建学の精神(自律処行)に基づき、人間形成の基礎を培う保育を展開する。

#### ① 幼稚園教育の質の向上

【自由幼AP No.1】

幼稚園教育の質の保証および日常保育の質の向上を図るため、充実した指導計画の作成、計画的な研修の実施、学校評価の実施および幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を推進し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：研修に基づく指導計画の見直し、改善	30%
小学校交流	4回

#### ② 園の特色を活かした教育課程の編成

【自由幼AP No.2】

日々の保育の評価と改善の検討により教育課程を充実させるため、学年会議(編成会議)において学期毎に各学年で保育の振り返りを行ったうえで、次年度カリキュラムを検討し、以下の成果指標を設定する。



を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：園外保育回数

14回

## 2) 大学・地域との連携強化

幼稚園の教育力向上を目指し、大学・地域との連携を図り、地域に支持される幼稚園を構築する。

### ① 学園設置大学との連携の強化

【鞍手幼AP No.3】

附属幼稚園の特質を活用した保育内容と保育力の向上を図るため、学生と連携した企画を実施する。さらに、大学の実践研究や臨床研究へ参加し保護者へのフィードバックを行い、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：学生の保育行事への参加回数

7回

### ② 地域との交流の推進

【鞍手幼AP No.4】

地域に信頼され、地域に支持される幼稚園を構築するため、地域の施設等との連携強化や地域内の他園および附属幼稚園との連携・交流を図り、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：地域施設との交流回数

14回

## 3) 幼稚園運営の強化

信頼される園を構築するため、園児の安定確保策を立案し、組織の活性化を図る。

### ① 園児募集・広報の強化

【鞍手幼AP No.5】

保護者の本園に対する理解を深め、本園への入園に繋げるため、ホームページ、SNS等を活用した保育情報の発信による広報活動と未就園児教室の充実を図る。さらに、子育て支援活動を実施し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：ホームページ等の更新

30回/月

広報活動

30件

総園児数

120人

### ② 安全対策の徹底

【鞍手幼AP No.6】

日々の保育が安全に守られ安心して保育できる幼稚園として保護者や地域からの信用・信頼を確保するため、安全・衛生点検の強化、危機管理の強化およびバス乗降確認を徹底し、以下の成果指標を設定する。

[成果指標]：職員による安全点検回数

9回

職員間の安全管理への意識

4.5点

避難訓練の実施

6回

## 5. 管理運営

### (1) 学園内ネットワークの効率的運用

#### ① 学園内ネットワークの効率的運用

【管理運営AP No.1】

### (2) 組織の若返りによる組織活力の維持向上

#### ① 組織の若返りによる組織活力の維持向上

【管理運営AP No.2】

### (3) 組織活性化のための制度改革の実行

#### ① 組織活性化のための制度改革の実行

【管理運営AP No.3】

### (4) 職員の能力開発 (SD) の推進

#### ① 職員の能力開発 (SD) の推進

【管理運営AP No.4】

## 6. 財務・環境整備

(1) 収入増加と財政に応じた支出の検討

① 収入増加と財政に応じた支出の検討

【財務・環境整備AP No.1】

(2) 事業別収支体質の強化

① 事業別収支体質の強化

【財務・環境整備AP No.2】

(3) 施設設備の計画的な整備

① 施設設備の計画的な整備

【財務・環境整備AP No.3】